

# 豊臣秀吉量産計画

Hideyoshi Toyotomi Mass Production Project

岩熊 萌衣

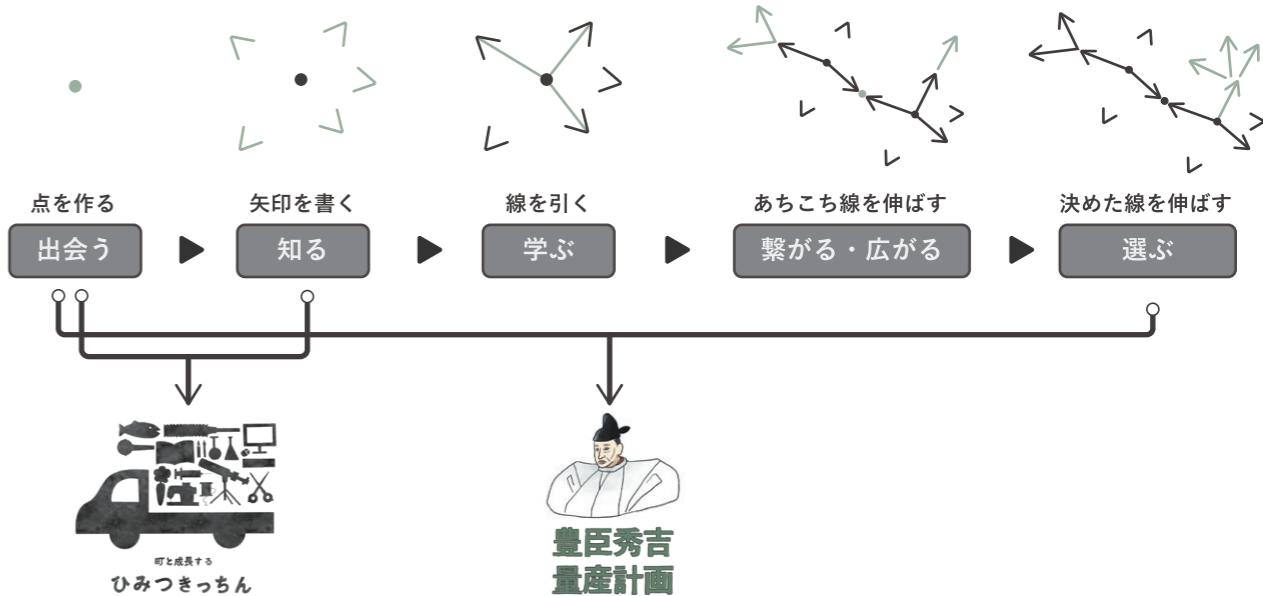


## 生まれによる教育格差をなくすための仕組みづくり

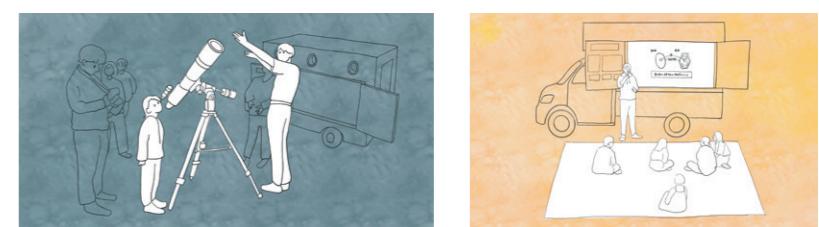
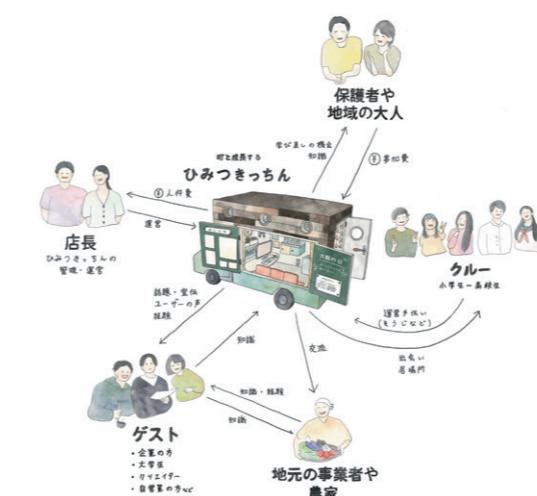
生死に関わるわけではないが相対的に貧しい状態にある子ども達は国内外に多く存在します。今回は教育面で「出会い・知る」の場面が家庭に依存し、親や地域の影響を強く受けるために貧しさが受け継がれていくことを問題としました。そして地元鞍手町を舞台に地域と一緒に成長していくコミュニティとそのシステムの提案を行います。

## Creating a Framework to Eliminate Educational Disparities

Many children in the world live in non-life-threatening but relatively poor conditions. In this project, I focused on the issue of poverty passed down from generation to generation. A child's chance to "encounter and learn" greatly depends on their parents and local communities. I perceive this as a problem. I propose a community and a system that grows together with the local community in my hometown, Kuratemachi.



本来であれば子供達が選択を行っていく際は上記の5ステップが揃った状態、言い換えれば「どんな子供達でも等しくさまざまな出会いが提供され、その目標が定まればゴールまで伴走してくれる社会」が理想であると考えています。その理想を実現することを目的とした計画を、貧しい生まれにも関わらず天下人まで成り上がった豊臣秀吉の名を借りて、豊臣秀吉量産計画と名付けました。しかし、5ステップ全てを一度に解決するのは困難なため今回は豊臣秀吉量産計画の第一歩として「出会い・知る」の提供を行い、仮に線を伸ばしていくことを途中で諦めることになっても諦めた線の周りに使わない点や矢印がたくさんあることによる豊かさの実現を目指します。



そこで、提案するのが「町と成長するひみつきっちゃん」です。ひみつきっちゃんは町の中を曜ごとに決められた場所で転々とし、県内外からゲストを招いてワークショップを開催する新しい居場所です。既存の名称に当てはめるのでは、「移動型児童館」といったところでしょう。ワークショップに参加したり、友達と話したり…。ここで、子供たちは自由な時間を過ごすことができます。過ごした時間の中で自分の将来を決めるようなときめきを得ることができれば儲け物ですが、得られなくてもここで点や矢印を子供達に提供することができます。また、移動式することで町の各所と組み合わせて場を作っていくことができます。